



2022年4月期第3四半期 決算説明資料

株式会社 イメージ・マジック

2022年3月17日

証券コード : 7793

目次

- 1 会社概要
- 2 2022年4月期第3四半期 業績
- 3 2022年4月期 業績予想
- 4 当社の強みと今後の戦略
- 5 Appendix

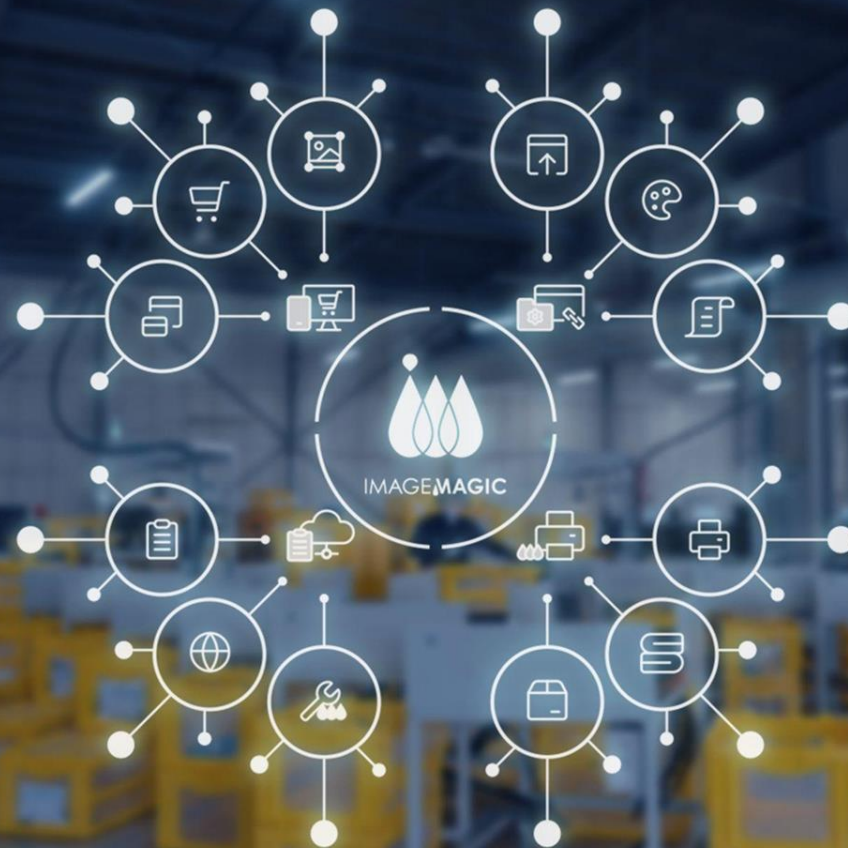
1

会社概要

Corporate profile

会社概要

- 会社名** 株式会社イメージ・マジック
- 事業内容** オンデマンドプリントプラットフォームの提供
- 設立** 1995年5月
- 代表者** 代表取締役社長 山川 誠
- 資本金** 98.5百万円（2022年1月末現在）
- 所在地** 本社 **Tokyo**
東京都文京区小石川1-3-11ライジング後楽園ビル5F
- GPC工場 **Gifu**
岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17
- 小豆沢工場 **Tokyo**
東京都板橋区小豆沢1-7-16



個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

“プリント×IT”で起こす、イノベーション



簡単・便利な モノづくりを実現

お客様が簡単/便利にモノづくりができ、お手頃価格で欲しいタイミングでお手元に届くことを実現する。



オンデマンド 生産市場拡大に貢献

工場のモノづくりのDX化をサポートし、オンデマンド生産市場拡大に貢献する。



在庫を減らし つくる責任を果たす

オンデマンド生産できるアイテムを拡げ、世の中の無駄な在庫を減らし『つくる責任』を果たす。



ソリューションを グローバルに提供

世界中から最適なソリューションをマッチアップし、信頼されるサービスをグローバルに提供していく。

事業内容

当社ビジネス オンデマンドプリントサービス・ソリューションサービス

オンデマンドプリント サービス

1 自社受注サイト

当社インターネットサイトを経由で受注しプリント加工を行い出荷するサービス

 オリジナルプリント.jp



2 連携パートナー

連携パートナー企業と呼んでいる当社のシステムと接続した会社経由で受注データを取り込みプリント加工を行い出荷するサービス



主なグッズ一例 |

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム

ソリューションサービス (ODPS) ※

3 ソフトウェアの提供

オンデマンドプリントの各ワークフローをOEM及びSaaS型モデルとして提供

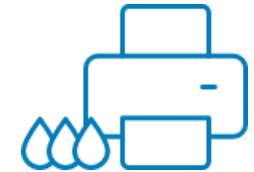
 maker town




SaaS

ハードウェアの提供

プリンター/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスに関わるハードウェアを提供



※ODPS：当社サービス名「On Demand Print Solutions オンデマンドプリントプリントソリューションズ」の略

主要取引先実績

幅広い業界各社が当社プラットフォームを活用

情報・通信

ヤフー(株)
ラクスル(株)
BASE(株)
GMOペパボ(株)
UUUM(株)

卸売・小売

(株)グラニフ
クロスプラス(株)
(株)ビームス
(株)ユニクロ
(株)ロフト

サービス・その他

ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
ピクシブ(株)
三井物産グローバルロジスティクス(株)
(株)TBSグロウディア
(株)TowaStela

広告・印刷・出版

凸版印刷(株)
(株)博報堂
(株)ワン・パブリッシング
(株)CDG
(株)KADOKAWA

製造・メーカー

東レインターナショナル(株)
(株)トレードワークス
(株)パル
モリリン(株)
(株)ヤギ

(50音順、敬称略、業種は当社分類による)



2

2022年4月期第3四半期 業績

Quarterly results

2022年4月期第3四半期業績

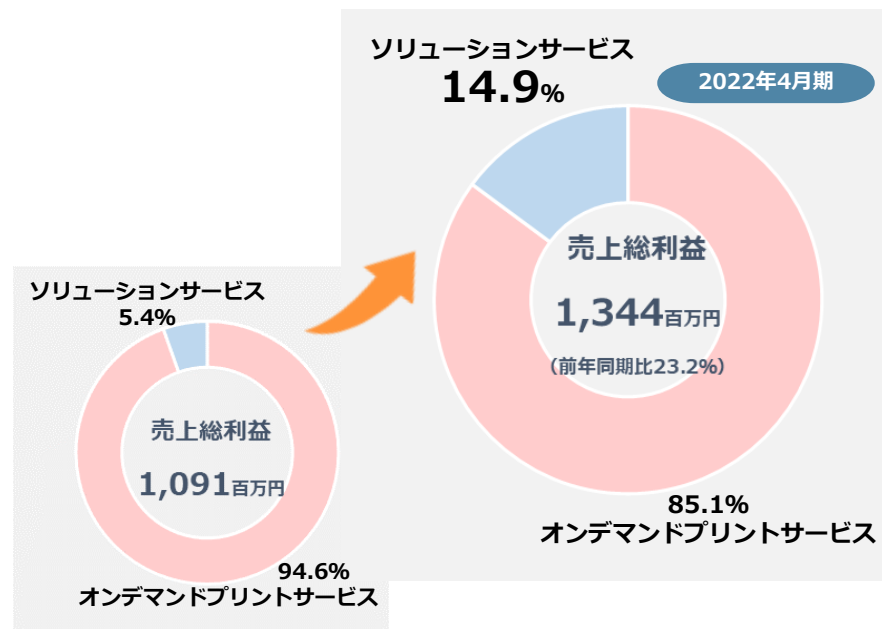
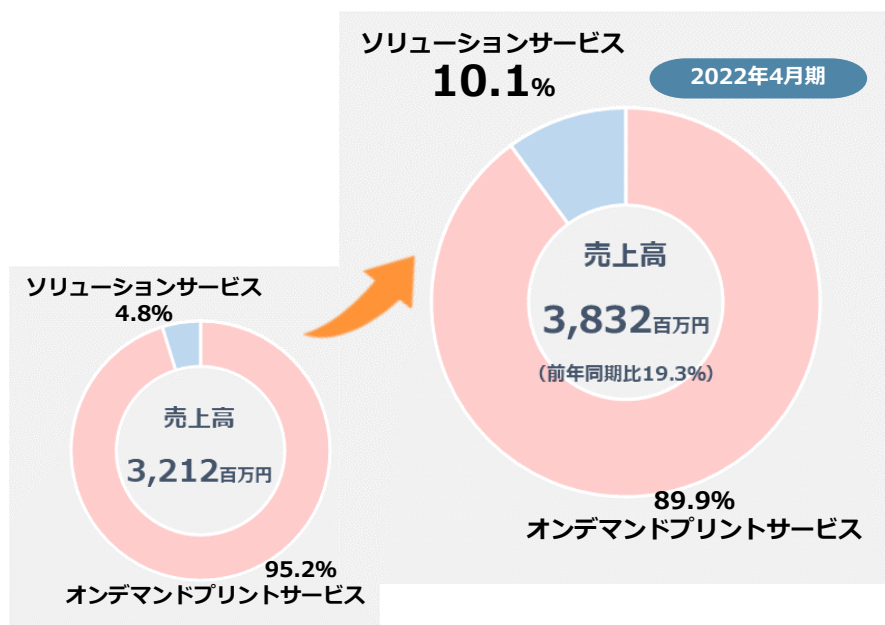
売上高成長率19.3% 売上高経常利益率9.2%

(単位：百万円)	2021年4月期※1	2022年4月期	前年同期比	
	3Q累計	3Q累計	増減額	増減率
売上高	3,212	3,832	619	19.3%
営業利益	275	355	80	29.1%
対売上比 (%)	8.6%	9.3%	+0.7pt	-
経常利益	275	350	74	27.2%
対売上比 (%)	8.6%	9.2%	+0.6pt	-
当期利益	241	274	33	13.8%
対売上比 (%)	7.5%	7.2%	△0.3pt	-
EBITDA※2	405	481	75	18.7%
対売上比 (%)	12.6%	12.6%	-pt	-

※1：2021年4月期3Q累計は四半期財務諸表を作成していないため参考値 ※2：EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）

2022年4月期第3四半期 業績 サービス別 収益構成の前年同期比較

成長著しいソリューションサービスが利益率を押し上げる



ソリューションサービス売上高

ソフトウェア開発・ハードウェア初期導入により増加

前年同期比：+5.3pt拡大

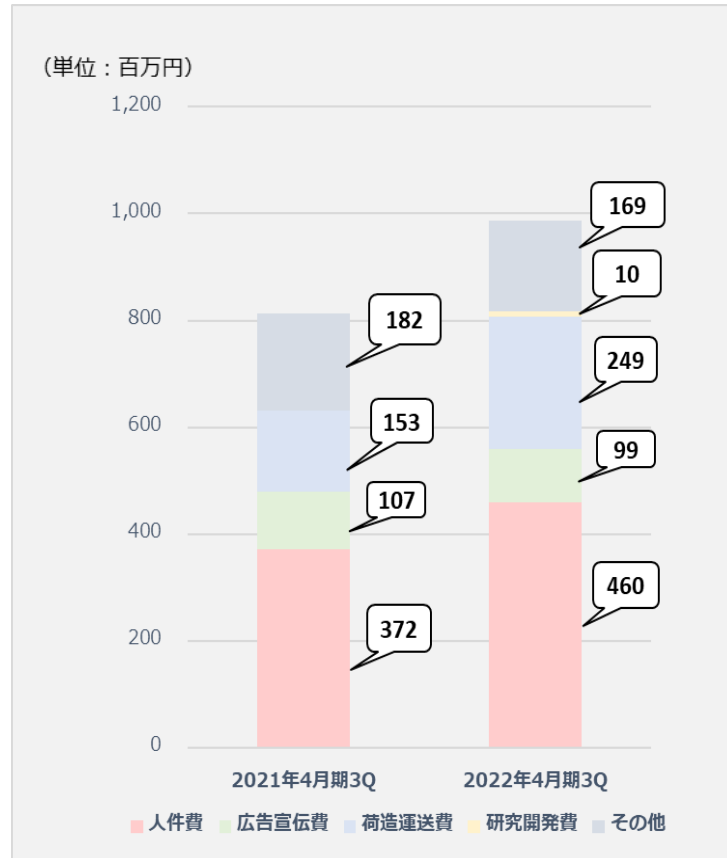
ソリューションサービス売上総利益

オンデマンドプリントサービスよりも高い利益率

前年同期比：+9.5pt拡大

2022年4月期第3四半期 業績 販管費の前年同期比較

販売費及び一般管理費の主な内訳



当四半期販売費及び一般管理費

988百万円

前期比：172百万円増（21.2%増）

■ 広告宣伝費

ROAS※を適正值でコントロール。費用対効果を重視

99百万円

前期比：△8百万円減（△7.9%減）

■ 荷造運送費

顧客への出荷物流コスト。売上連動で増加中

249百万円

前期比：96百万円増（62.9%増）

■ 研究開発費

梱包出荷・物流工程の効率化を目指した研究

10百万円

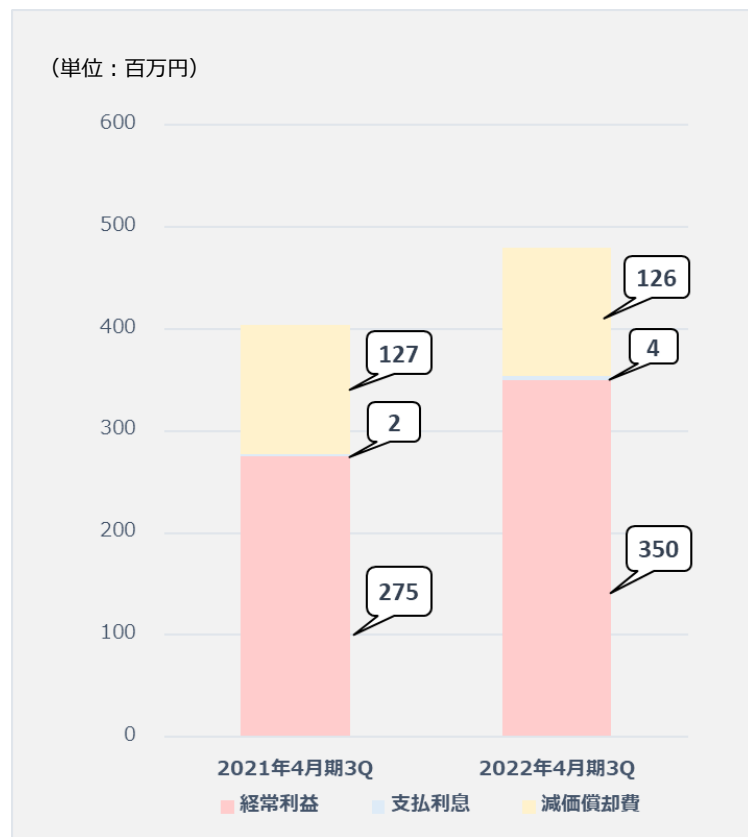
前期比：-百万円（-%）

※ROAS（Return On Advertising Spendの略）

広告の費用対効果、広告費に対して、どれだけ売上として貢献できているかを示す指標

2022年4月期第3四半期 業績 EBITDAの前年同期比較

事業拡大のための設備投資を継続しつつ着実に利益回収



EBITDAマージン

12.6% (前年同期12.6%)

当四半期経常利益

350百万円

前期比：74百万円増 (27.2%増)

支払利息

前年同期比では設備投資に伴う借入実行のため増加

4百万円

前期比：1.9百万円増 (82.0%増)

減価償却費

設備投資を継続するも横這い。

126百万円

前期比：△0.9百万円減 (△0.7%減)

2022年4月期第3四半期 業績 B/Sサマリ

強固な財務体質の形成。利益計上により自己資本比率が改善。最適な財務レバレッジを利かせた経営を目指す

(単位：百万円)	2021年4月末	2022年1月末	前期末比
	前4Q	当3Q	増減額
資産合計	1,941	1,952	11
流動資産	1,222	1,290	67
固定資産	718	662	△ 56
負債合計	1,350	1,054	△ 296
流動負債	853	667	△ 186
固定負債	496	386	△ 110
純資産	590	898	307
総資産	1,941	1,952	11
有利子負債	723	508	△ 215
自己資本比率 (%)	30.4%	46.0%	+15.6pt

3

2022年4月期 業績予想

Earnings forecast

2022年4月期 業績予想

通期予想に対して、売上高は進捗率71.9%、各段階利益は進捗率80%前後の推移

(単位：百万円)	2022年4月期 通期（予想）	2022年4月期 3Q累計	進捗率
売上高	5,333	3,832	71.9%
営業利益	450	355	79.0%
対売上比（%）	8.4%	9.3%	—
経常利益	429	350	81.7%
対売上比（%）	8.0%	9.2%	—
当期利益	330	274	83.2%
対売上比（%）	6.2%	7.2%	—

前提条件

- ・新規株式上場による資本金の増加に伴う外形標準課税の適用により販売費及び一般管理費に税金費用、営業外費用に上場関連費用が4Qで発生。
- ・ロシア・ウクライナ情勢及び国際物流の状況等の影響については織り込んでおりません。

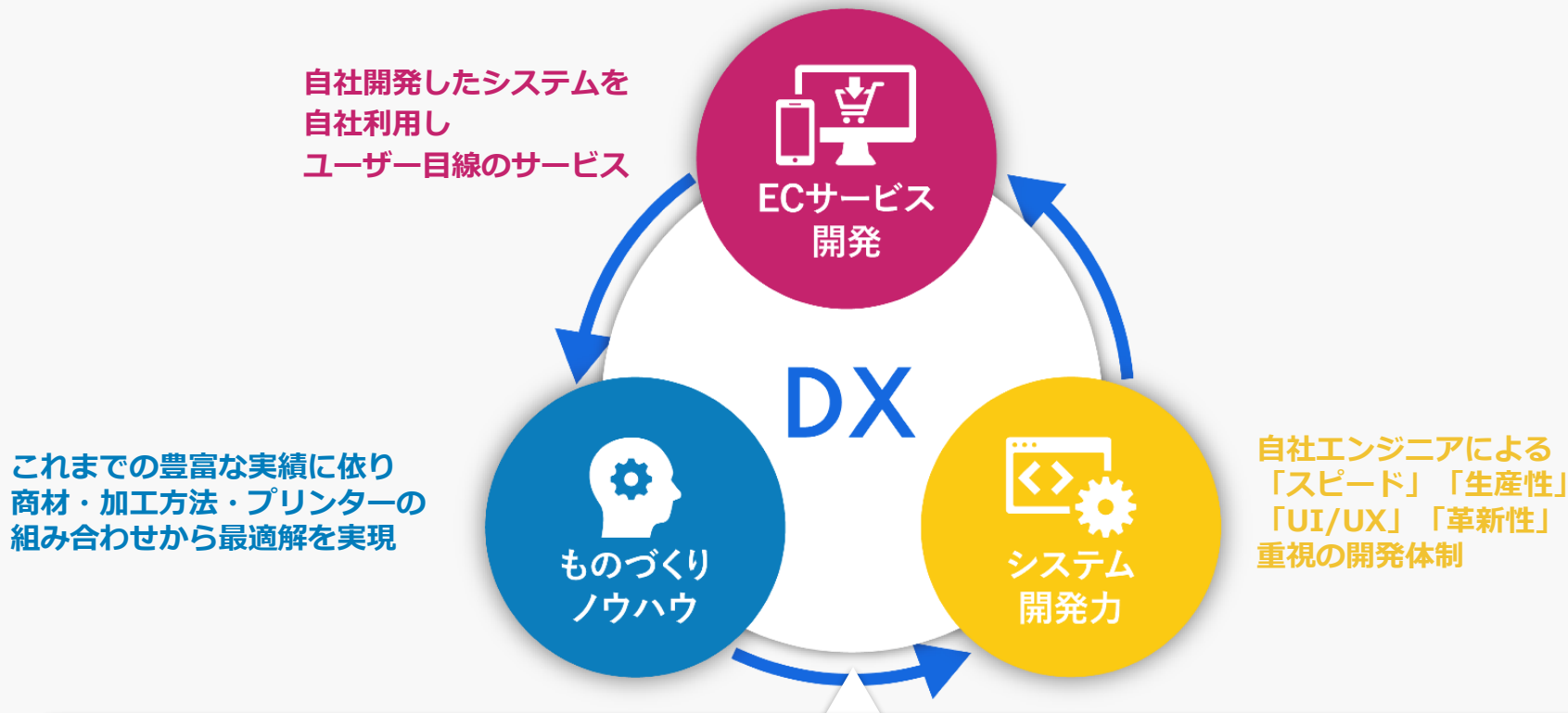
4

当社の強みと今後の戦略

Imagemagic Strength and Strategy

モノづくりのDX化を強かに推進する改善サイクル

ECサービス & ものづくりノウハウ & システム開発力の 三位一体での高速ワークフロー改善



自社及びパートナー企業からの要望を社内情報インフラで即時に共有し
エンジニア部門/営業企画部門/製造部門を横断してサービス/ワークフローの改善を推進

オンデマンド生産の最適化に必要なノウハウやナレッジを自社構築

自社で受注から出荷までのソフトウェア/ハードウェアを開発し
他社には真似のできない**高効率ワークフローを実現**

競合先	受注	生産	システム開発	ハードウェア
ECサイト運営会社	←→			
プリント工場		←→		
システム開発会社			←→	
プリンターメーカー				←→
一般印刷会社	←→	←→		
ECサイト運営・システム開発会社	←→		←→	
IMAGEMAGIC	←→			

全て自社で行うことが
最大の強み



この強みによって
競合先は存在しない

作業時間を独自開発ソフトウェア/ハードウェアで従来型より85%削減

他社と比較して 優位な価格競争力を実現

受注 → 商品手配 → 印刷作業 → 検品 → 出荷

当社
オンデマンド
プリント

1枚あたりの作業時間

約**5**分

作業時間
85%削減!



不慣れな人でも
高速生産を可能とした
システム

※特許権：2021年1月13日取得 第6823325号

※特許権：
電子タグで印刷画像を管理し、印刷画像をTシャツ等に印刷するための印刷信号をプリンタに出力できるシステム

納期
当日出荷

一般的な
オンデマンド
プリント

1枚あたりの作業時間

約**30**分

受注 → データチェック → 商品手配 → 生産日程調整 → 印刷作業 → 検品 → 出荷

納期
当日出荷

一般的な
量産型
プリント

1枚あたりの作業時間

約**60**分

受注 → データチェック → 製版 → 商品手配 → 生産日程調整 → 印刷作業 → 検品 → 出荷

納期
約2週間

国内生産拠点ネットワーク

クラウドでコントロールされた オンデマンドネットワーク拡大中

自社工場

6工場



自社工場
最大日産数

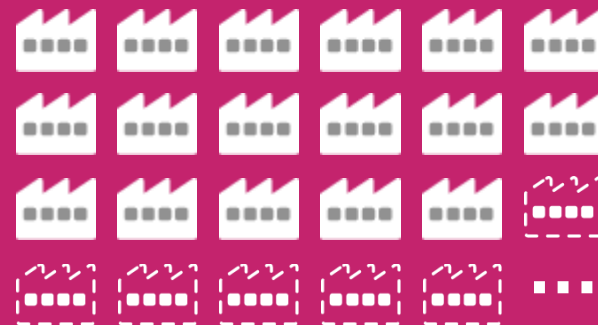
50,000枚※



※Tシャツ1枚換算

OPN協力工場

17工場



OPN全体（計23工場）
最大日産数

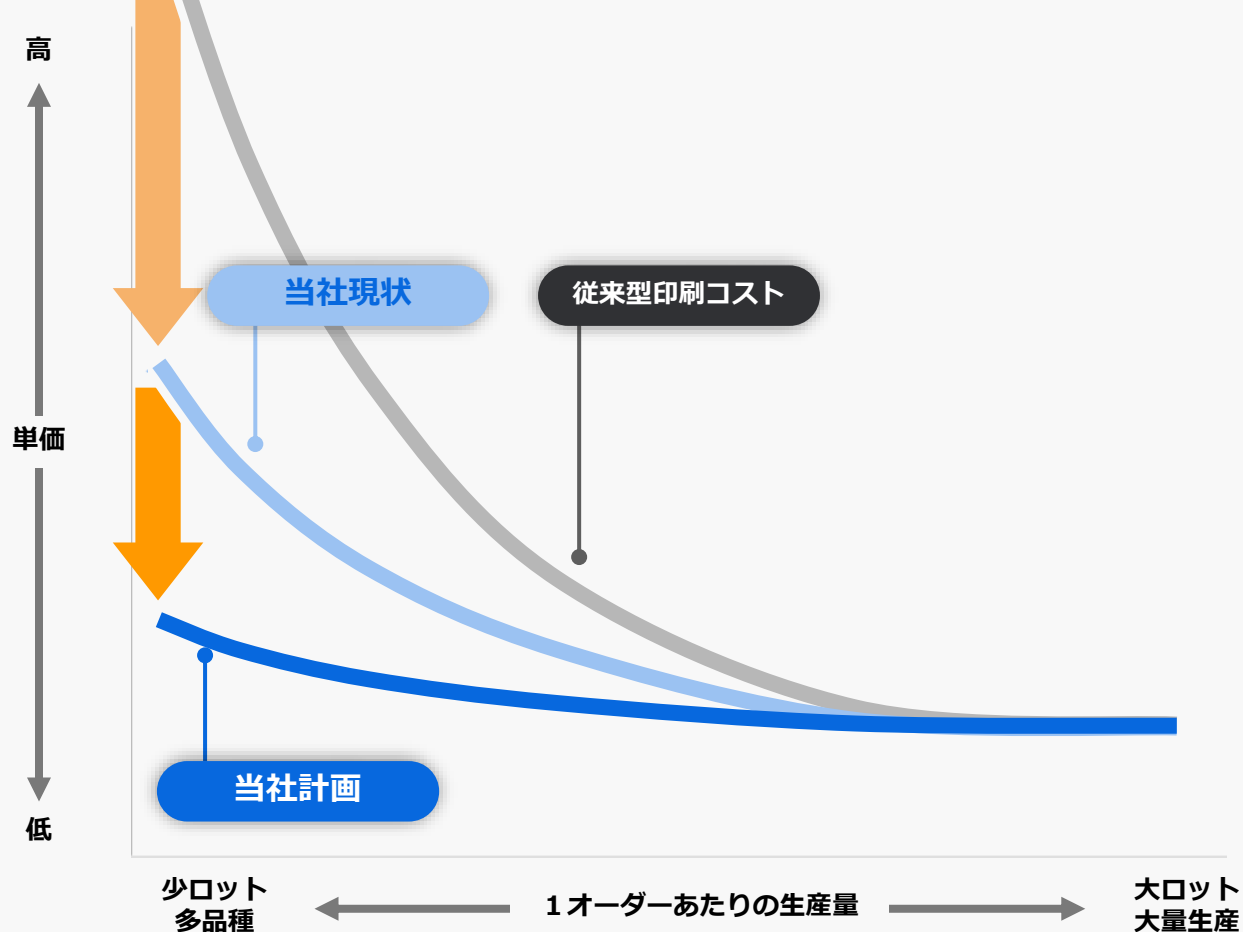
300,000枚※



加工機や受注量に応じて全国での最適な工場から出荷できる
オンデマンドプリントネットワーク化により、**同一品質での短納期生産を実現**

DX化の進展に伴う市場拡大の可能性

モノづくりが従来型の大量生産から 小ロット多品種化へ加速していく



従来型の印刷

従来は単価を下げることを目的としてほとんどの商品が大量生産されていました。

当社

当社では1点からの小ロット多品種の単価を引き下げることを実現したことで、モノづくりの一定割合が小ロット多品種化、または、オーダーを受けてから1点ずつ生産するオンデマンド化が進展しています。

当社では更なるワークフローの改善/自動化を進め、小ロットでの単価低減を進めていきます。

5

Appendix

事業概要図

オンデマンドプリント
サービス 当社領域

ソリューション
サービス 当社領域

他社領域



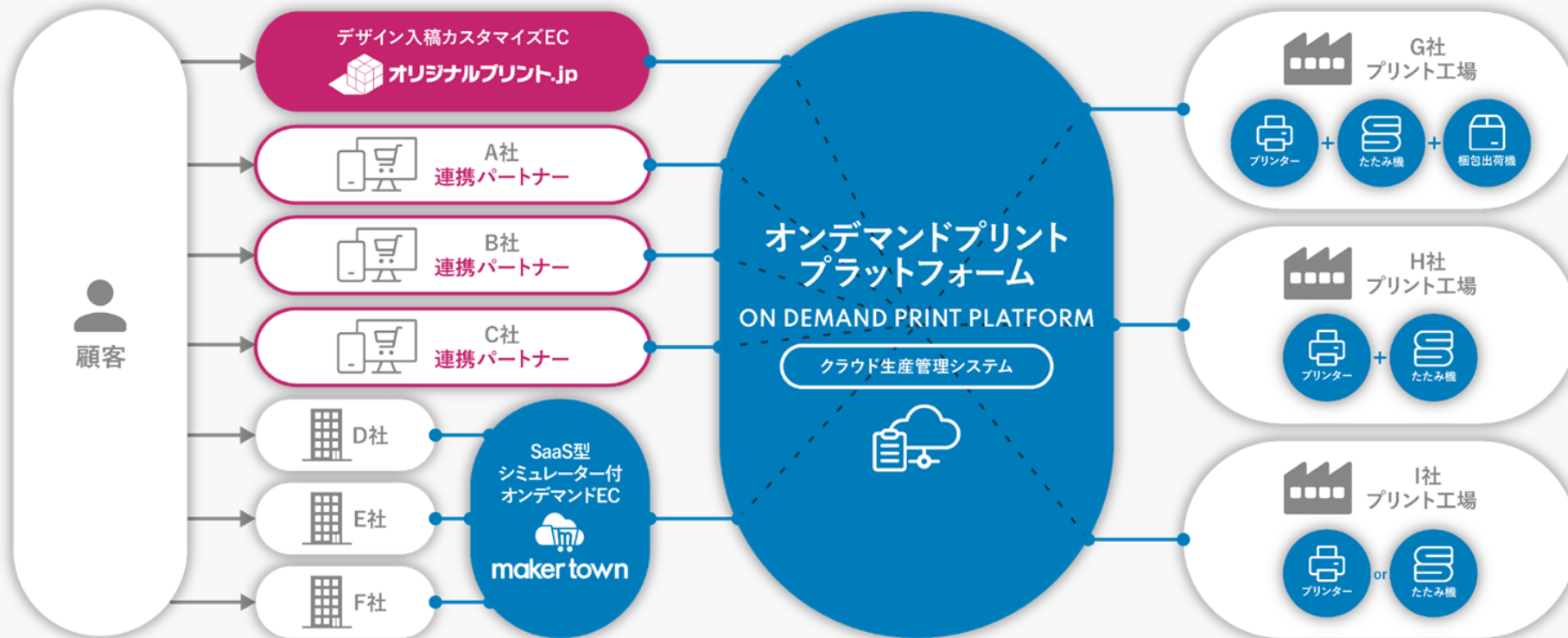
受注システム



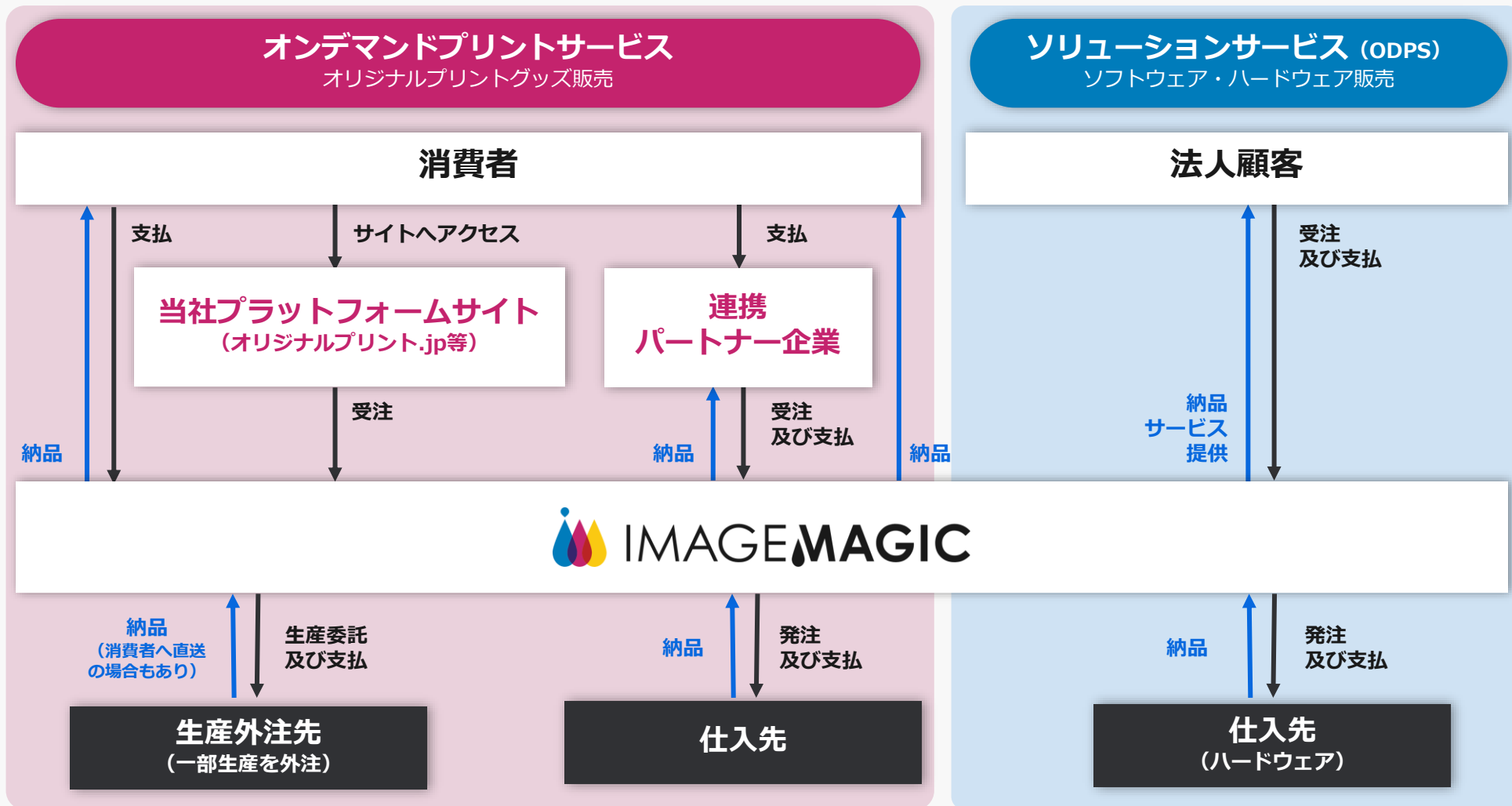
クラウド生産管理
システム



ハードウェア



プリント×ITで新たな価値を創造する オンデマンドプリントプラットフォーム



1 オリジナルプリント.jp



国内最大級かつ
シミュレーター付オンデマンドECにより
受注自動化のパイオニア

- ・オリジナルグッズを作成できるECサイト
- ・当社独自開発のデザインツールにより簡単にカスタマイズ可能
- ・価格/納期/仕上がりイメージを事前に確認可能なサービスのパイオニア
- ・アパレル・雑貨等
約1,900種類の豊富なアイテムを1点から作成可能
- ・注文から出荷連絡までのサイトオペレーションを自動化



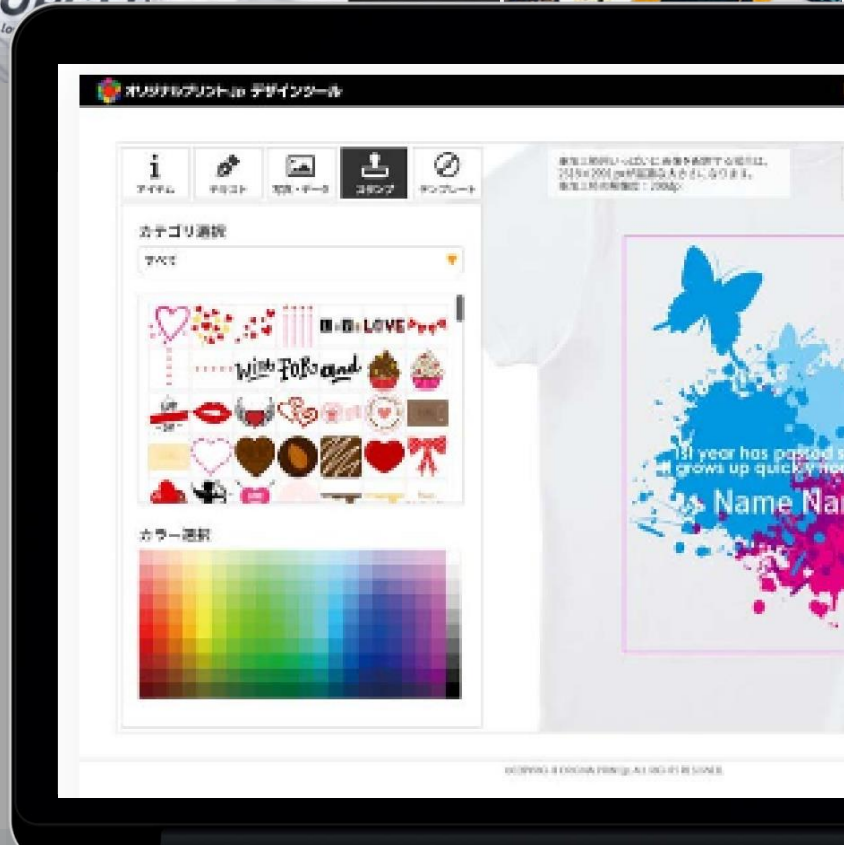
アイテムを
選ぶ



デザインツール
を使って
カスタマイズ



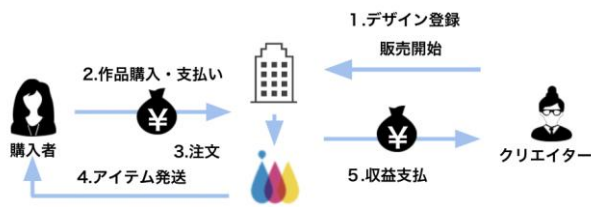
価格/納期等
お客様が知りたい
情報を事前に
確認してから発注



② 連携パートナー/法人からの受注

拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

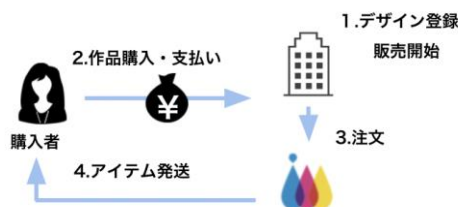
例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

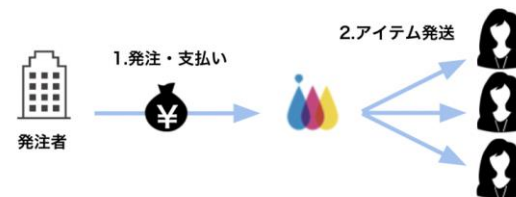
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

例：バリエブル印刷※



ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリエブル印刷に対応

※バリエブル配送：データベースから情報を抽出し1案件ずつ異なる宛先への配送を行うこと

3 ソリューションサービス ビジネスモデル

受注から生産管理システム、ハードウェア等の
自社開発サービスをソリューションとして提供



本資料の取り扱いについて

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。